

## (5班) 9 平田鉄二 さん 玉名工業高等学校

### 「フリースペースについて」

私たちは玉名工業高等学校の1年、平田鉄二です。

私たちはフリースペースを増やすことについて提案します。

私たちが求めているフリースペースは、勉強ができたり、話すことができたり、学校終わりに休憩できたりする自由度が高く自習スペースとはすこし雰囲気が違う空間のことです。

今、玉名市には、ツタヤの2階にフリースペースがあります。私は勉強や部活動終わりの休憩場所に使いますが、席が空いておらず使えない時があります。

玉名市の文化センターには自習スペースがありますが、学生の中には静かすぎて入りにくいという声もあり、私も入りにくいと感じています。私は長洲町から通学していますが、フリースペースができると、学校帰りに気軽に勉強できたり、友達との交流を増やすことができ、もっと楽しく通学ができると思います。

そこで学生が楽しく教え合いながら勉強したりするフリースペースを新しく作るという提案をします。以上です。

### 答弁者:企画経営部長

玉名工業高等学校 平田 鉄二議員ご質問の「フリースペースについて」にお答えします。

本市では、高校生や大学生を主体とした地方創生事業「玉名未来づくり研究所」という取り組みを行っており、令和2年度に「駅周辺の勉強スペースの必要性」というテーマが提起されました。

そこで JR 玉名駅周辺の民間の建物管理者に相談をしたところ、現在まで様々なところでフリースペースが生まれています。まず、JR 玉名駅待合室ですが、以前は長椅子のみの場所でしたが、現在は机とイスを設置しフリースペースとして開放していただいています。この時の机イスは、学生の手作りとなっており、玉名工業高校の生徒も参加しています。

また、ツタヤ玉名店2階の店舗改装時には、高校生の要望をお伝えしフリースペースの設置もしていただきました。もう1つ、有料の施設ではありますが、駅前の空き店舗を改修したコワーキングスペース HOME の開設に繋がったりしています。同施設では、高校生が主体の校外活動サークル「たまラボプラス」という取り組みを行っており、様々な高校の生徒同士が共に学んだり、活動したりしています。ぜひ、一緒に参加してみたいはいかがでしょうか。

このように高校生の活動が、民間の心を動かし、フリースペースの開設に結び付いており、市としても、今後も高校生の思いが実現できるように支援してまいります。